

「学び方改革」のススメ

「学び方を身に付けること」は一生の宝になります

前述した「教育大改革」の流れを基に考えて見てください。「丸付けをしてやらないと勉強する気にならない」と家庭学習をしない子、「先生に見せるために同じ漢字を何十回も書いてくる子」、このように子ども達が、「夢を叶え、未来を切り拓く」ことができないのでしょうか。

私は、できないと思います。自分で丸付けを行い、やり直しができる子、「自ら計画し、自律的に家庭学習ができる子」「覚えるための漢字学習ができる子」ではないでしょうか。そのような資質や能力を伸ばすことこそが、これらの学校や家庭が協力して果たすことを求められている最も大きな役割だと考えます。



押ししてみませんか

写真は、昨年すい星のように登場し、平昌冬季オリンピック金メダリストのザギトワを破り、グランプリファイナルを制した日本女子フィギュアスケート界期待の星ユアスケート界期待の星紀平梨花選手です。

最近、その紀平選手の身体能力の高さを映像に片手だけで側転する映像がSNSで多くの子供達の間で流行っています。逆立ち歩行する姿も流れます。実際には運動だけではありませんが、この子達が持っている読書の楽しさ、計算力など、小学校で身につけていったりするのとは、全く異なるものがあるように感じます。



「成長のスイッチ」

それを可能にしているのがヨコミネ式教育法です。現在、四百を超える全国の幼稚園が取り入れており、ヨコミネ式教育法の子供たちが、自ら学ぶ姿勢、自ら学ぶ方法を身につけています。ヨコミネ式教育法の子供たちは、自ら学ぶ姿勢、自ら学ぶ方法を身につけています。ヨコミネ式教育法の子供たちは、自ら学ぶ姿勢、自ら学ぶ方法を身につけています。

「夢へのかけ橋」

子ども達が身につけていくべきは、自ら学ぶ姿勢、自ら学ぶ方法を身につけていくことです。ヨコミネ式教育法の子供たちは、自ら学ぶ姿勢、自ら学ぶ方法を身につけています。ヨコミネ式教育法の子供たちは、自ら学ぶ姿勢、自ら学ぶ方法を身につけています。

「白旗小版」

子ども達は、自ら学ぶ姿勢、自ら学ぶ方法を身につけています。ヨコミネ式教育法の子供たちは、自ら学ぶ姿勢、自ら学ぶ方法を身につけています。ヨコミネ式教育法の子供たちは、自ら学ぶ姿勢、自ら学ぶ方法を身につけています。

「ヨコミネ式教育法3つの力」

- 【心の力】
- 【体の力】
- 【学ぶ力】

「ヨコミネ式教育法4つのスイッチ」

- 子どもは競争したがる
- 子どもはマネしたがる
- 子どもはちょっとだけ難しいことをしたがる
- 子どもは認められたがる

「ヨコミネ式教育法3つの力」

【心の力】

【体の力】

【学ぶ力】

「ヨコミネ式教育法4つのスイッチ」

子どもは競争したがる

子どもはマネしたがる

子どもはちょっとだけ難しいことをしたがる

子どもは認められたがる

「ヨコミネ式教育法3つの力」

【心の力】

【体の力】

【学ぶ力】

「ヨコミネ式教育法4つのスイッチ」

子どもは競争したがる

子どもはマネしたがる

子どもはちょっとだけ難しいことをしたがる

子どもは認められたがる

「ヨコミネ式教育法3つの力」

【心の力】

【体の力】

【学ぶ力】

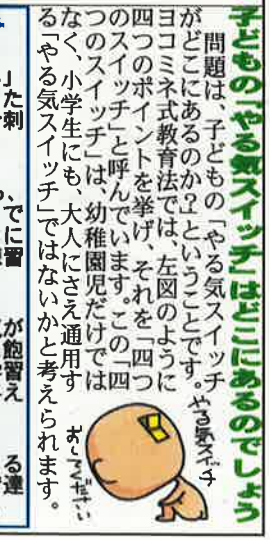
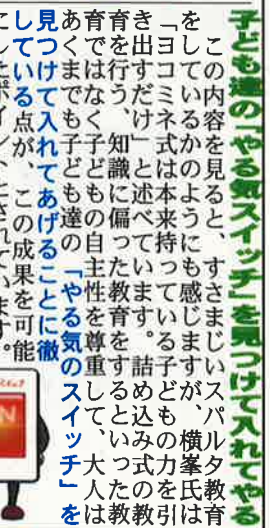
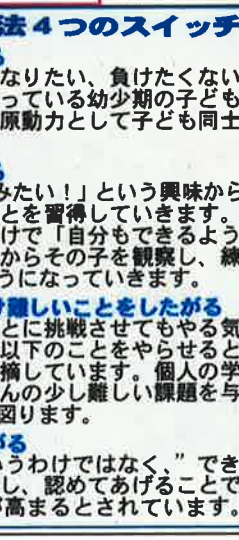
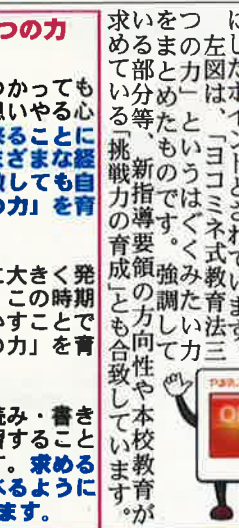
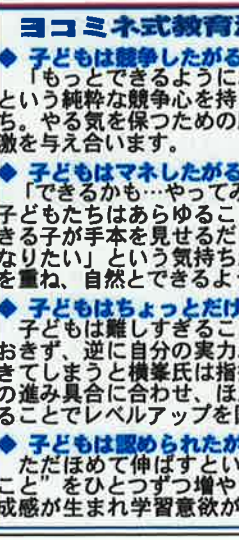
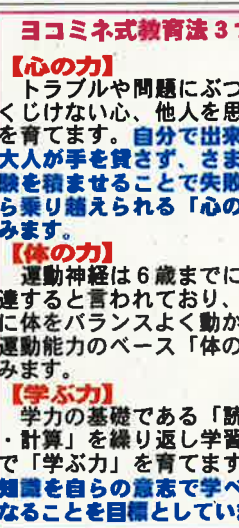
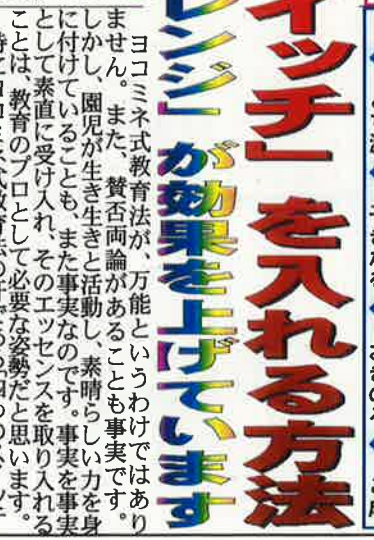
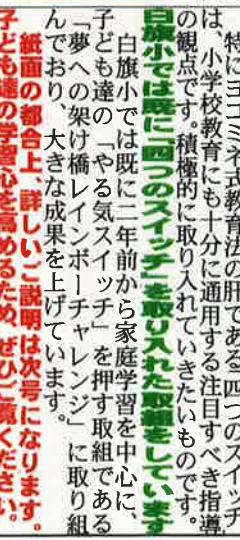
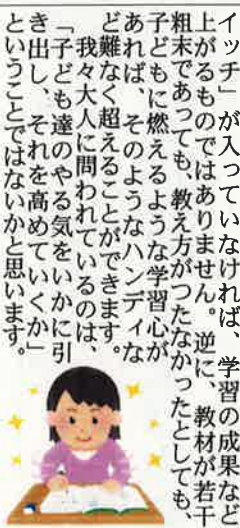
「ヨコミネ式教育法4つのスイッチ」

子どもは競争したがる

子どもはマネしたがる

子どもはちょっとだけ難しいことをしたがる

子どもは認められたがる



白旗



平成30年度 立校り
甲佐町 旗小 便
白旗学 校 第31号
1月24日発行

白旗小版「やる気スイッチ」を入れる手立て

「夢へのかけ橋」レインボーチャレンジ

今回は前号でもお知らせしました『白旗版の「やる気スイッチ」を入れる手立て』として二年前から取り組んでいる「夢へのかけ橋」レインボーチャレンジを紹介いたします。

これは今まで詳細にお伝えしたこともなかったのですが、子ども達が各種賞状等を持って帰ってきているのをご覧になっていただければと思います。



「夢へのかけ橋」レインボーチャレンジとは、今年から実施する「やる気スイッチ」の導入に伴って、二年間で大きな成果を上げています。この方法は、目的や原理を理解した上で、計画的に実施すれば、誰が行っても一定の成果を期待することができ、そこでも、これまでの成果と、それを生み出した基本的な原理を説明したいと思っております。

この取組の成果を更に確かめたいというためには、学校と保護者の協力が不可欠です。「レインボーチャレンジ」の効果を最大限に引き出し、子ども達の可能性を広げましょう。

「夢へのかけ橋」レインボーチャレンジとは、今年から実施する「やる気スイッチ」の導入に伴って、二年間で大きな成果を上げています。この方法は、目的や原理を理解した上で、計画的に実施すれば、誰が行っても一定の成果を期待することができ、そこでも、これまでの成果と、それを生み出した基本的な原理を説明したいと思っております。

「夢へのかけ橋」レインボーチャレンジとは、今年から実施する「やる気スイッチ」の導入に伴って、二年間で大きな成果を上げています。この方法は、目的や原理を理解した上で、計画的に実施すれば、誰が行っても一定の成果を期待することができ、そこでも、これまでの成果と、それを生み出した基本的な原理を説明したいと思っております。

「夢へのかけ橋」レインボーチャレンジとは、今年から実施する「やる気スイッチ」の導入に伴って、二年間で大きな成果を上げています。この方法は、目的や原理を理解した上で、計画的に実施すれば、誰が行っても一定の成果を期待することができ、そこでも、これまでの成果と、それを生み出した基本的な原理を説明したいと思っております。

「夢へのかけ橋」レインボーチャレンジとは、今年から実施する「やる気スイッチ」の導入に伴って、二年間で大きな成果を上げています。この方法は、目的や原理を理解した上で、計画的に実施すれば、誰が行っても一定の成果を期待することができ、そこでも、これまでの成果と、それを生み出した基本的な原理を説明したいと思っております。

「夢へのかけ橋」レインボーチャレンジとは、今年から実施する「やる気スイッチ」の導入に伴って、二年間で大きな成果を上げています。この方法は、目的や原理を理解した上で、計画的に実施すれば、誰が行っても一定の成果を期待することができ、そこでも、これまでの成果と、それを生み出した基本的な原理を説明したいと思っております。



「夢へのかけ橋」レインボーチャレンジとは、今年から実施する「やる気スイッチ」の導入に伴って、二年間で大きな成果を上げています。この方法は、目的や原理を理解した上で、計画的に実施すれば、誰が行っても一定の成果を期待することができ、そこでも、これまでの成果と、それを生み出した基本的な原理を説明したいと思っております。

「夢へのかけ橋」レインボーチャレンジとは、今年から実施する「やる気スイッチ」の導入に伴って、二年間で大きな成果を上げています。この方法は、目的や原理を理解した上で、計画的に実施すれば、誰が行っても一定の成果を期待することができ、そこでも、これまでの成果と、それを生み出した基本的な原理を説明したいと思っております。

「夢へのかけ橋」レインボーチャレンジとは、今年から実施する「やる気スイッチ」の導入に伴って、二年間で大きな成果を上げています。この方法は、目的や原理を理解した上で、計画的に実施すれば、誰が行っても一定の成果を期待することができ、そこでも、これまでの成果と、それを生み出した基本的な原理を説明したいと思っております。

「夢へのかけ橋」レインボーチャレンジとは、今年から実施する「やる気スイッチ」の導入に伴って、二年間で大きな成果を上げています。この方法は、目的や原理を理解した上で、計画的に実施すれば、誰が行っても一定の成果を期待することができ、そこでも、これまでの成果と、それを生み出した基本的な原理を説明したいと思っております。

「夢へのかけ橋」レインボーチャレンジとは、今年から実施する「やる気スイッチ」の導入に伴って、二年間で大きな成果を上げています。この方法は、目的や原理を理解した上で、計画的に実施すれば、誰が行っても一定の成果を期待することができ、そこでも、これまでの成果と、それを生み出した基本的な原理を説明したいと思っております。




「夢へのかけ橋」レインボーチャレンジとは、今年から実施する「やる気スイッチ」の導入に伴って、二年間で大きな成果を上げています。この方法は、目的や原理を理解した上で、計画的に実施すれば、誰が行っても一定の成果を期待することができ、そこでも、これまでの成果と、それを生み出した基本的な原理を説明したいと思っております。

認め、ほめ、励ます「1と2と3とやる気を引き出す」未来志向の七段階評価

「レインボーチャレンジ」とは、基準を明確にした七段階の評価方法です。児童の伸びる力を引き出し、主体的に目標を達成させ、「夢の実現への橋渡し」をしようという取組です。

「夢へのかけ橋」は「虹の架け橋」です。教師個々の力量に頼ることなく、学校全体として、子ども達の学力を大きく伸ばす方法はないか、そのことをずっと以前から考え続けてきました。方法の全体像は浮かんでいたのでしたが、どうしてもしっかりと見えていませんでした。

「認め、ほめ、励ます」は「1と2と3とやる気を引き出す」未来志向の七段階評価です。子ども達の成長を導く立場にいる我々大人の言葉かけが重要です。この「レインボーチャレンジ」において注目してほしいのは、各星の中に記してある言葉です。

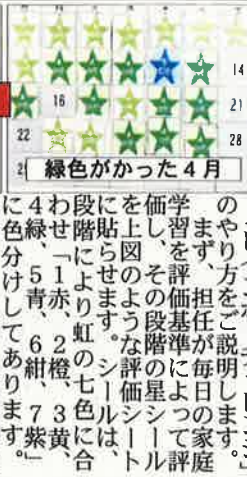
	宿題をまったくしてこなかった。でも、それを正直に報告できたね。
	宿題を半分くらいはしてきたね。そして、それを正直に報告できたね。
	宿題をほとんど全部してきたね。○つけややり直し頑張ってるね。

	宿題を全部した。○つけややり直しもやってるね。
	宿題を全部した。上にも、自習も少ししてきたね。○つけややり直しもやってるね。
	宿題を全部した。上にも、自習もたくさんしてきたね。○つけややり直しもやってるね。



「見える化」は評価の効果を高めます 子ども達が「色の変化」で自分の成長を実感できます

「見える化」は評価の効果を高めます。子ども達が「色の変化」で自分の成長を実感できます。



「見える化」は、子ども達の「やる気」を高める上で、たいへん重要なポイントです。子ども達は、できるだけ高い評価の色シールを集めたいとします。さらに、色の変化で自分の成長を実感することもできます。実際、ある子どもがシールをめくり色合いが変化する様子を確認しながら、しみじみと「先生、僕も成長しましたね」と言ったという話を担任から聞きました。少し笑ってしまいました。言葉通りの成長を嬉しく感じました。

先生の言葉かけこそが成功の鍵

しかし、シールを貼るだけで子どもの「やる気」を引き出すことはできません。重要になるのは先生の言葉かけです。「レインボーチャレンジャー」は、学校全体としての評価の方向性と方法を示してはいますが、先生の最終的な成功の鍵は、先生の「認める、ほめる、励ます」言葉かけにかかっています。言葉のやり取りは、子ども達の「やる気」を高める上で、たいへん重要なポイントです。子ども達は、できるだけ高い評価の色シールを集めたいとします。さらに、色の変化で自分の成長を実感することもできます。実際、ある子どもがシールをめくり色合いが変化する様子を確認しながら、しみじみと「先生、僕も成長しましたね」と言ったという話を担任から聞きました。少し笑ってしまいました。言葉通りの成長を嬉しく感じました。



「やる気」を引き出す様々な評価。子ども達の「やる気」を引き出すためには、「頑張ったよ」「また頑張ろう」と実感させることが必要不可欠です。そこで、「レインボーチャレンジャー」では、それをさせるための手立てをいくつも準備しています。

賞名	対象
家庭学習月間最高得点賞	家庭学習月間最高得点者
家庭学習月間最高アベレージ賞	家庭学習月間最高アベレージ者
家庭学習月間最優秀賞	家庭学習月間最優秀者
家庭学習月間最優秀アベレージ賞	家庭学習月間最優秀アベレージ者

「レインボーチャレンジャー」の評価はこれだけではありません。なぜなら、全ての子どもが「やる気」を引き出し、夢を叶えることが最終目的です。評価は、チャンピオンシップだけではいけません。トップを目指すだけでなく、地道にコツコツと行う努力にも光を当てる必要があり、全ての子どもを「やる気スイッチ」を押すことなどできなからず、地道な努力を認め、地道な努力を認めて励ます手立としてコレクションシール賞を設けました。コレクションシールは、4以上の評価シールを四十枚集めることです。7月の全校集会等で表彰するようにしています。

「レインボーチャレンジャー」の評価はこれだけではありません。なぜなら、全ての子どもが「やる気」を引き出し、夢を叶えることが最終目的です。評価は、チャンピオンシップだけではいけません。トップを目指すだけでなく、地道にコツコツと行う努力にも光を当てる必要があり、全ての子どもを「やる気スイッチ」を押すことなどできなからず、地道な努力を認め、地道な努力を認めて励ます手立としてコレクションシール賞を設けました。コレクションシールは、4以上の評価シールを四十枚集めることです。7月の全校集会等で表彰するようにしています。

「レインボーチャレンジャー」の評価はこれだけではありません。なぜなら、全ての子どもが「やる気」を引き出し、夢を叶えることが最終目的です。評価は、チャンピオンシップだけではいけません。トップを目指すだけでなく、地道にコツコツと行う努力にも光を当てる必要があり、全ての子どもを「やる気スイッチ」を押すことなどできなからず、地道な努力を認め、地道な努力を認めて励ます手立としてコレクションシール賞を設けました。コレクションシールは、4以上の評価シールを四十枚集めることです。7月の全校集会等で表彰するようにしています。

人は自分のために走れなくてもチームのために走ることができる。チームワークの重要性を教えてくれた「チームレインボーチャレンジャー」。

「チームレインボーチャレンジャー」は最終手段。二年になります。前述したように様々な手立ての工夫を行ってききましたが、それでもなかなかやる気スイッチを押すことができない子どももいました。そこで、最終手段として取り入れたのが「チームレインボーチャレンジャー」です。これは名前の通りチームで「レインボーチャレンジャー」を行う取組です。三から四人のチームで、家庭学習の目標を持ち、それを互いに励まし合い、教え合いながら、協力して達成していきます。その過程を通して学習意欲を高め、同時に人と協力して目標を目指す力も身に付けさせたいと思っていました。

「チームレインボーチャレンジャー」は最終手段。二年になります。前述したように様々な手立ての工夫を行ってききましたが、それでもなかなかやる気スイッチを押すことができない子どももいました。そこで、最終手段として取り入れたのが「チームレインボーチャレンジャー」です。これは名前の通りチームで「レインボーチャレンジャー」を行う取組です。三から四人のチームで、家庭学習の目標を持ち、それを互いに励まし合い、教え合いながら、協力して達成していきます。その過程を通して学習意欲を高め、同時に人と協力して目標を目指す力も身に付けさせたいと思っていました。

「チームレインボーチャレンジャー」は最終手段。二年になります。前述したように様々な手立ての工夫を行ってききましたが、それでもなかなかやる気スイッチを押すことができない子どももいました。そこで、最終手段として取り入れたのが「チームレインボーチャレンジャー」です。これは名前の通りチームで「レインボーチャレンジャー」を行う取組です。三から四人のチームで、家庭学習の目標を持ち、それを互いに励まし合い、教え合いながら、協力して達成していきます。その過程を通して学習意欲を高め、同時に人と協力して目標を目指す力も身に付けさせたいと思っていました。

- 全員が、チームの目標をまったく理解しておらず、認め、ほめ、励まし合うことができなかったね。
- チームの目標理解が十分ではなく、認め、ほめ、励まし合うこともあまりできなかったね。
- 全員がチームの目標を理解しているが、認め、ほめ、励まし合うことがもう少しだったね。
- 全員がチームの目標を理解し、認め、ほめ、励まし合ながら努力しようとしていたね。
- 全員がチームの目標を目指して努力し、認め、ほめ、励まし合っていたね。
- しっかりと、全員がチームの目標を目指して努力し、認め、ほめ、励まし合っていたね。
- 驚くほど、全員がチームの目標を目指して努力し、認め、ほめ、励まし合っていたね。

一年間獲得すれば達成できる人口七百五十人。都道府県の人口比で各県毎に配分し、熊本県をスタートポイントとして塗りつぶすようにしていき、日本一周を達成しているというものです。

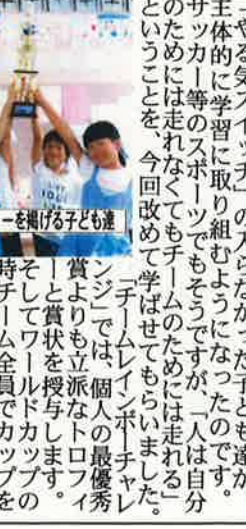
その効果は予想以上で、これまで子ども達が主体的に学習に取り組むようになったのです。サッカー等のスポーツでもそうですが、一人は自分一人では走れなくてもチームのために走れる。今年改めて学ばせてもらいました。

「チームレインボーチャレンジャー」は最終手段。二年になります。前述したように様々な手立ての工夫を行ってききましたが、それでもなかなかやる気スイッチを押すことができない子どももいました。そこで、最終手段として取り入れたのが「チームレインボーチャレンジャー」です。これは名前の通りチームで「レインボーチャレンジャー」を行う取組です。三から四人のチームで、家庭学習の目標を持ち、それを互いに励まし合い、教え合いながら、協力して達成していきます。その過程を通して学習意欲を高め、同時に人と協力して目標を目指す力も身に付けさせたいと思っていました。

「チームレインボーチャレンジャー」は最終手段。二年になります。前述したように様々な手立ての工夫を行ってききましたが、それでもなかなかやる気スイッチを押すことができない子どももいました。そこで、最終手段として取り入れたのが「チームレインボーチャレンジャー」です。これは名前の通りチームで「レインボーチャレンジャー」を行う取組です。三から四人のチームで、家庭学習の目標を持ち、それを互いに励まし合い、教え合いながら、協力して達成していきます。その過程を通して学習意欲を高め、同時に人と協力して目標を目指す力も身に付けさせたいと思っていました。

「チームレインボーチャレンジャー」は最終手段。二年になります。前述したように様々な手立ての工夫を行ってききましたが、それでもなかなかやる気スイッチを押すことができない子どももいました。そこで、最終手段として取り入れたのが「チームレインボーチャレンジャー」です。これは名前の通りチームで「レインボーチャレンジャー」を行う取組です。三から四人のチームで、家庭学習の目標を持ち、それを互いに励まし合い、教え合いながら、協力して達成していきます。その過程を通して学習意欲を高め、同時に人と協力して目標を目指す力も身に付けさせたいと思っていました。

「学びの質」が高まってきています



「学びの質」が高まってきています。二年間の取組で子ども達の「学びの質」は確実に高まってきています。一年間以上、ほぼ毎日自学ノートに貼る記事の切り抜き、記事の内容も、時事、経済、教育、環境等、多岐に渡っており、自分の意見を書いたり、分かった事実とそれに対する自分の意見を書いたり、最近では、批判的な視点で記事を取り下げるものも出てきています。

「学びの質」が高まってきています。二年間の取組で子ども達の「学びの質」は確実に高まってきています。一年間以上、ほぼ毎日自学ノートに貼る記事の切り抜き、記事の内容も、時事、経済、教育、環境等、多岐に渡っており、自分の意見を書いたり、分かった事実とそれに対する自分の意見を書いたり、最近では、批判的な視点で記事を取り下げるものも出てきています。

「チームレインボーチャレンジャー」は最終手段。二年になります。前述したように様々な手立ての工夫を行ってききましたが、それでもなかなかやる気スイッチを押すことができない子どももいました。そこで、最終手段として取り入れたのが「チームレインボーチャレンジャー」です。これは名前の通りチームで「レインボーチャレンジャー」を行う取組です。三から四人のチームで、家庭学習の目標を持ち、それを互いに励まし合い、教え合いながら、協力して達成していきます。その過程を通して学習意欲を高め、同時に人と協力して目標を目指す力も身に付けさせたいと思っていました。

「チームレインボーチャレンジャー」は最終手段。二年になります。前述したように様々な手立ての工夫を行ってききましたが、それでもなかなかやる気スイッチを押すことができない子どももいました。そこで、最終手段として取り入れたのが「チームレインボーチャレンジャー」です。これは名前の通りチームで「レインボーチャレンジャー」を行う取組です。三から四人のチームで、家庭学習の目標を持ち、それを互いに励まし合い、教え合いながら、協力して達成していきます。その過程を通して学習意欲を高め、同時に人と協力して目標を目指す力も身に付けさせたいと思っていました。